

# きそさき 議会だより

VOL. **76**  
2013  
平成25年8月1日発行



今回の表紙(めりえ)



南部幼稚園・保育園  
いとう あやなさん  
の作品

## おもな内容

- 町議会新体制でスタート **2~4**
- 第2回定例会 **5~6**
- ここか聞きたい【一般質問】 **7~10**
- 行政報告 **11~13**
- 議会日誌 **14**
- 議員トピックス **15**

# 町議会、新体制でスタート



木曾岬町議会 議長  
伊藤 律雄



木曾岬町議会 副議長  
伊藤 浩

## 就任のご挨拶

盛夏の候、町民の皆さまにおかれましては、益々ご健勝でお過ごしのことと存じます。

平素は、私達の議員活動に、ご助言やご支援をいただきお礼申し上げます。

この度、5月の臨時会役員選挙におきまして、議員各位のご推挙により議長に就任させていただきました。事となり、身に余る光栄と厚く感謝申し上げますとともに、微力ではあり

ますが、全力でつとめる覚悟しております。メガソーラー事業や、地域資源を活かした産業活性化や複合型施設の建設に向けて魅力ある元気な町づくりを目指して全力で取り組んで参りますのでよろしくお願いたします。

今後とも町議会に対し、ご支援とご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。お礼申し上げます。議長としての就任の挨拶とさせていただきます。

町民の皆さまには町議会に対し、あたたかいご支援を賜っておりますこと厚くお礼申し上げます。さて、このたび議員各位のご推挙によりまして、副議長の要職につかせていただくこととなり、誠に身に余る光栄とその責任の重大さを痛感しているところでございます。

私たち町議会は、議会の果たすべき役割を十分認識し、従来の慣例にとらわれることなく、より

一層の創意工夫と努力を積み重ねるとともに、執行機関との真摯な議論により有効な政策を推進し、諸課題の解決に全力を尽くしてまいります。

地方分権の推進など、本町を取り巻く環境が大きく変わりつつある中で、社会経済は依然として厳しい状況ではありますが、議会といたしましても自治の本旨を尊重しながら、さらなる自立の道を探求し、山積する諸課題に取

り組んでいかなければなりません。

行財政改革をより一層推し進め、加速する少子化に対応する次世代育成支援対策、高齢化対策、多様化する町民の皆さまのニーズにお応えし、生活の安全と安心を確保し、皆さまの負託に応えられるよう、公平・公正な議会運営を心がけながら懸命に努力する決意でありますので、議会運営に対しまして、ご支援ご指導を賜りたくお願い申し上げます。簡単ではございますが就任の挨拶とさせていただきます。



平成25年

第1回

# 臨時議会

平成25年5月20日改選後初めての第1回臨時議会が開催され、正・副議長の選挙および各常任委員会などの選任を行い、議会の体制が整えられ閉会となりました。

## 議事内容

### 可決した議案

議件名（議案の内容）

■ 選挙第1号 議長選挙について

※議長選挙にて、伊藤律雄議員が当選されました。

■ 発議第4号 木曾岬町議会議席の指定について

※任期中の議席を議長が決めました。

■ 選挙第2号 副議長選挙について

※副議長選挙にて、伊藤浩議員が当選されました。

■ 発議第5号 常任委員の選任について

※総務建設常任委員6人、教育民生常任委員6人、議会広報常任委員4人が指名されました。

■ 発議第6号 議会運営委員の選任について

※議会運営委員4人が指名されました。

議件名（議案の内容）

■ 発議第7号 消防委員会委員の選任について

※木曾岬町消防委員3人が選任されました。

■ 選挙第3号 桑名広域清掃事業組合議会議員の選挙について

※桑名広域清掃事業組合議会議員選挙にて、伊藤律雄議員が当選されました。

■ 選挙第4号 桑名・員弁広域連合議会議員の選挙について

※桑名・員弁広域連合議会議員選挙にて、伊藤律雄議員が当選されました。

■ 同意第2号 木曾岬町監査委員の選任につき同意を求めることについて

※議会から選任される監査委員として、伊藤好博議員の選任が同意されました。



木曾岬町議会議員8人

精一杯がんばります!!  
よろしくお願ひします。

平成25年4月16日、木曾岬町議会議員選挙が告示され、  
選挙する定数を超えなかったことにより、無投票当選となりました。

議員任期 / 平成25年5月18日～平成29年5月17日



1番

服部 英二夫

- 議会運営委員会
- 総務建設常任委員会
- 教育民生常任委員会
- 消防委員会

無所属

当選1回



2番

伊藤 守

- 総務建設常任委員会
- 教育民生常任委員会
- 消防委員会

無所属

当選1回



3番

上村 幹夫

- 総務建設常任委員会
- 教育民生常任委員会
- 消防委員会

無所属

当選1回



5番

三輪 一雅

- 議会運営委員会(副委員長)
- 教育民生常任委員会  
(委員長)
- 議会広報常任委員会  
(委員長)

無所属

当選2回



6番 (議長)

伊藤 律雄

- 総務建設常任委員会
- 議会広報常任委員会
- 桑名広域清掃事業組合議  
会議員
- 桑名・員弁広域連合議会議員

無所属

当選2回



7番 (副議長)

伊藤 浩

- 総務建設常任委員会  
(副委員長)
- 教育民生常任委員会

無所属

当選3回



8番

伊藤 好博

- 議会運営委員会(委員長)
- 教育民生常任委員会  
(副委員長)
- 議会広報常任委員会
- 監査委員

無所属

当選5回



9番

伊藤 正

- 議会運営委員会
- 総務建設常任委員会  
(委員長)
- 議会広報常任委員会  
(副委員長)

無所属

当選5回

平成25年

# 第2回

# 木曾岬町議会定例会



第2回木曾岬町議会定例会は、6月14日から24日までの11日間の会期で開催されました。今回の定例会には、補正予算案、条例改正案など議案8件、報告案件3件、選挙1件、合計12件の議案等について審議されました。

会期日程の内容は次のとおりです。

14日の開会日には、会期の決定を行った後に、加藤町長から行政報告を受け、その後、議案8件と報告案件3件を上程し、町長の提案理由説明と所管課長の詳細な説明を受けました。続いて選挙1件を上程し選挙を行い散会しました。

19日には一般質問が行われ、3名の議員が質問に立ちました。(その内容は「ここが聞きたい一般質問」を参照) その後、議案および報告案の質疑が行われました。

24日の最終日には、初日に上程された議案8件について、討論・採決を行い、全議案原案のとおり可決し、第2回定例会を閉会しました。

## 議事内容

### 可決した議案

◎執行部提案

議件名(議案の内容)

■議案第41号 平成25年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計補正予算(第1号)について

※既決予算額に歳入歳出それぞれ265,000千円を追加し、予算総額を2,800,000千円とした補正予算です。今回の補正は、当初予算が骨格予算による編成であったことから、多額な追加補正となっております。

○今回の主な補正内容は次のとおりです。

- ・ 複合型施設建設に向けての地質調査および基本設計等の業務委託
- ・ 火葬場の老朽化に伴う炉の改修工事
- ・ 太陽光発電の設置に要する補助金
- ・ 農業用水利施設の合理化および排水機場の耐震診断調査等の計画策定業務
- ・ 町道西対海地・和泉線測量設計業務委託
- ・ 中部幼稚園保育園に耐震性貯水槽の設置工事
- ・ 園児、児童、生徒等へのライフジャケットの購入 など

■議案第42号 平成25年度三重県桑名郡木曾岬町公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)について

※既決予算額に歳入歳出それぞれ23,000千円を追加し、予算総額を281,000千円とした補正予算です。

○今回の主な補正内容は次のとおりです。

- ・ 下水道施設の長寿命化計画と下水処理場の耐震診断ならびに、診断結果に基づく総合地震対策計画策定業務

■議案第43号 木曾岬町税条例の一部改正について

※地方税法の一部を改正する法律等の公布施行に伴うことと、税制改革の一環として窓口での納税および口座振替による納税が普及し、自主納税の意識が高まってきたことから、納期前納付に係る報奨金の廃止をしようとするため、本条例の一部改正を行ったものです。

議件名（議案の内容）

議案第44号 木曾岬町国民健康保険条例の一部改正について

※国民健康保険法施行令の一部を改正する政令が、公布施行されたことに伴い、本条例の一部改正を行ったものです。

議件名（議案の内容）

報告第2号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

※平成24年度予算のうち、繰越明許費として平成25年度へ繰越した予算15,175千円の繰越計算書を報告したものです。

議案第45号 木曾岬町立火葬場の設置及び管理に関する条例の一部改正について

※町外者の火葬場使用料金については、他市町との格差が大きいため実経費相当額に改め、合わせて受付等の手続きについて、現行の本条例の一部改正を行ったものです。

議案第46号 木曾岬町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について

※新型インフルエンザ等対策特別措置法が、平成24年5月11日公布され、平成25年4月13日施行されたことに伴い、本条例を制定するものです。

議件名（議案の内容）

選挙第5号 三重県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について

※三重県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙にて、加藤 隆町長が当選されました。

議案第47号 木曾岬町道の路線廃止について

※新たな道路計画を立てるため、町道西対海地・和泉線の起点を変更するもので、現路線を廃止するものです。

### 各議員の賛否

議案等の審議結果です。賛否の分かれた議案のみを表示しています。他の議案は全会一致で賛成となりました。

議案第48号 木曾岬町道の路線認定について

※町道西対海地・和泉線の起点側を町道川西幹線に変更することにより、交通の利便性を高めようとすることから、新たに路線を町道として認定するものです。

### 報告案件

議件名（議案の内容）

報告第1号 平成24年度三重県桑名郡木曾岬町一般会計繰越費繰越計算書の報告について

※平成24年度予算のうち、継続費として平成25年度へ繰越した予算568,800円の継続費繰越計算書を報告したものです。

議案番号	議案名	議員名	結果
議案第48号	木曾岬町道の路線認定について	服部 英二 夫 伊 藤 守 上 村 幹 夫 三 輪 一 雅 伊 藤 律 雄 伊 藤 浩 伊 藤 好 博 伊 藤 正	○ ○ ○ ○ — ○ ○ ×
議案第47号	木曾岬町道の路線廃止について		○ ○ ○ ○ — ○ ○ ×
		審議結果	可決 可決

※議長は裁決に加わらない。ただし、可否同数の場合は議長裁決。  
○は賛成、×は反対、欠は欠席、退は退席を表示。

1111  
聞きたい

# 一般質問

この記事は、通告順に掲載し、議員本人が作成した原稿を

議会広報常任委員会が編集したものです。

なお、掲載文は紙面の都合で要約されておりますが、

一般質問の全文は

木曾岬町議会議会記録(北部公民館にて公表で

ご覧いただけます。

町政のゆくえは…

## 3名の議員が質問

↑シ数 8 — 5番議席 三輪一雅議員

- 加藤町長の公約について
- 桑貞地域産業活性化協議会について

↑シ数 9 — 9番議席 伊藤 正議員

- 町複合型施設想定事業費等について
- 住宅リフォームに補助金を

↑シ数 10 — 8番議席 伊藤好博議員

- 行政改革推進状況について
- メガソーラー事業について
- ペット、動物の火葬場について

Q&A



# 加藤町長の2期目の公約は？

防災・減災を第一とし  
新しい時代に向かって魅力ある  
まちづくりを目指します——町長



5番議席 **三輪一雅** 議員



高度利用が望まれる木曾岬干拓地

### 質問

加藤町長は、4月に町長選挙が行われた結果、再当選を果たされました。

今回の立候補時にも防災強化を始めとした、さまざまな公約を改めて公表されています。その公約の内容について具体的にお伺いしたい。

### 答弁

二期目のスタートにあたり、防災、減災対策を第一に、町民の皆さんとともに魅力のある町づくりを柱とした重点施策を掲げました。

町民の皆さんの暮らしと生命を守る安全安心は、行政の最大の責任であり、津波避難施設として河川防災

ステーションに水防センターの建設、防災拠点機能を柱とした複合型施設やコミュニティセンター等の建設、また、わが町の生命線である木曾川左岸高潮堤防の耐震補強等と合わせて防災備品や防災訓練の充実化を図ります。

町の活性化につぎましては木曾岬干拓地にメガソーラー事業が決まり、これらの新しい魅力や地域資源を活かした産業の活性化、ならびに急激に進む少子高齢化や人口減少などに対する定住化対策や教育福祉の充実促進を図って参ります。更には、第5次総合計画の策定では、次世代につながる施策を取組んでいきます。

## 桑員地域産業活性化協議会の内容について聞きたい

地域における産業集積の形成・活性化を支援していく協議会で  
す

町長

### 質問

昨年2月に、桑員地域産業活性化協議会が発足されました。この内容について具体的に伺いたい。

また、その協議会でも取り上げられている「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」には、木曾岬町も入れられるとのことですが、これについても内容を伺いたい。

### 答弁

桑名市、いなべ市、東員町、木曾岬町の2市2町と三重県の枠組みで共同して、国の法律である企業立地促進法に基づき「桑員地域産業活性化協議会」を設置いたしました。この協議会は行政機関のほか、商工団体、大学、銀行などで構成されています。

この協議会では、桑員地

域の産業集積活性化のために重点的に企業立地を図る区域、工業立地法の特例措置をする区域、集積業種として指定する業種、指定集積業種に属する事業者の企業立地および事業高度化の目標、計画期間などを定めています。木曾岬町では、鍋田川工業団地がその位置づけとなっていますし、木曾岬干拓地の高度利用の調整を行っていくこととしています。

また、「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」は、愛知・岐阜・三重を中心として、この特区の指定を国から受け、木曾岬町でもこの対象となる企業さんがあります。航空宇宙産業の集積化を図る施策となっています。



# 一般質問



9番議席 **伊藤 正** 議員



木曾岬町庁舎、福祉教育センター

## 町複合型施設想定事業費等について

基金、補助金、地方債の発行と  
考えています

町長

### 質問

町複合型施設の想定事業費はMAX24億円となっておりますが、財源の内訳金額はどのようにな

るのでしょうか。今後の町長公約や起債に対する財政運営はどのようにされますか。

### 答弁

公共施設等の建設に積み立てている基金が4億2千万円と、その他施設用途に依じての補助金、そして不足する財源は地方債の発行と考えています。

なお、行政財産の新改築に活用できる「基本財産基金」7億1千万円、そして、一般的な財源不足に活用している「財政調整基金」が

18億円ございますが、目的基金以外は将来の財政運営、これは第5次総合計画に位置付けられる施策との兼ね合いがございますので、慎重な取り扱いが要求されます。



## 住宅リフォームに補助金を

よく検討し判断していきたい

町長

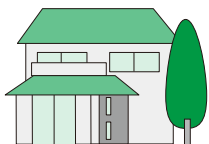
### 質問

町長は公約で、町の活性化を謳われていますので、一つ提案させていただきます。

住宅のリフォームを促進して、町内の地域経済の活性化を図るとともに、町民の居住環境を支援する為、町民が町内の施工業者によって行う住宅の改修工事に対し、予算の範囲内において工事費用の一部を補助金として、交付してはどうでしょうか。

### 答弁

持ち家を持たない方が、集めた税金を豊かな家屋所有者へ助成することとなり、行政が住民間の格差を拡大させる結果になりはしないかと考えておりまして、よく検討して判断していきたい。





8番議席 伊藤好博 議員

## 行政改革推進状況 について

着実に進めていきたい

副町長

**質問** 本年3月末の全協開催時の議題において、行政改革推進状況の報告を受けました。改善重点課題5項目についてお伺いします。

**答弁** 改善重点課題5項目について説明させていただきます。

1. 団体補助金の見直し  
・本年度以降についても、補助金・負担金の見直しに取り組み計画。
  2. 人材育成の充実  
・全庁的な取り組みへの意識の向上を図り、町民の視点で行政サービスを目指す施策を講じる。
  3. 危機管理の対応  
・日常の事務処理の検証より、複数チェックによる事務処理体制づくりを、致した所でありませす。また、自然災害や事故発生時等の危機管理体制の検証を進めている。
  4. 入札制度・設計管理体制の見直し  
・町の請負工事等指名審査会において、総合的に検証をしており、成案が出来る。
  5. 業務委託の見直し  
・協議・検証に入っておりませんが、今後、取り組んでいきたいと考えております。
- 行政改革は、すぐ成果に結びつくものは少なく、粘り強く着実に進めるため、色んな視点より支援、ご協

内 容	工事期間
準備仮設工事	平成25年7月から3ヶ月程度
整地工事	// 8月から3ヶ月程度
砕石敷き均し工事	// 8月から6ヶ月程度
アレイ基礎工事	// 9月から9ヶ月程度
架台パネル組立て工事	// 10月から8ヶ月程度
変電所基礎工事	平成26年1月から5ヶ月程度
変電所周囲柵工事	// 9月から3ヶ月程度
発電事業開始予定	平成27年1月予定

**答弁** メガソーラー事業の建設スケジュールであります。

**再質問** 遂行主義ではなく、何が成果として残つ

力をお願い申し上げます。

## メガソーラー事業について

工事着手に向け諸準備が進められている

町長

**質問** 先月5月24日、丸紅(株)と商工会主体による説明会が開催されました。メガソーラー事業の進捗状況と今後の町長の考えをお伺いします。

たかが大切ではないでしょうか、成果がしっかりと見える形に一日も早くしていただく活動を期待します。

また、丸紅(株)から産業振興と地域貢献についての提案がありました。  
○産業振興の提案  
1. 地域雇用の創出。  
2. 県内で生産される部材や製品の積極的に使用。  
3. 総合商社の強みを活かして、地域中小企業の新事業展開に協力。  
4. 太陽光発電、太陽熱の自然エネルギーを利用し、EMSを導入したエネルギー地産地消の実現。  
○地域貢献の提案  
1. 地元で新たな発電事業会社を設立、これは木曾町内に決定。  
2. 非常災害時などには、電気自動車など電気提供に貢献。  
3. メガソーラーを活用し

## ペット、動物の 火葬場について

現状維持していくこと  
としている

町長

**答弁** 町立火葬場では、ペットの火葬利用は出来ません。

将来、移転候補地が見つかるまでは、現状維持していくこととしておりますので、皆さまのご理解を得たいと考えております。

た環境教育施設の整備。  
4. 地域と共に積極的な新エネルギー導入の提言を行い、実施していくことを模索する。

# 行政報告

要旨



加藤 隆 町長

本日、平成25年第2回町議会定例会を招集しました

ところ、全議員、ご出席をいただき誠に苦勞さまでございます。

それでは、今期定例会においての行政報告をさせていただきます。

木曾岬町は、町長と町議会議員の改選期を迎え、4月に同時選挙が行われ、町議会は新しい8名の議員が当選され、5月20日初議会が開かれ、新体制が発足し、今期6月議会が改選後、初の定例会となります。町長選挙においては、現職の私が再選させていただき、町

民の皆さんに心から感謝申し上げます。

2期目の町政を担わせて頂くことになり、町民の皆さんの負託に応えるべく町政の推進に決意を新たに致しているところであります。

私は防災対策を第一に、

津波避難施設の建設を初め、河川防災ステーションと水防センター、さらには高潮堤防の耐震補強などを最優先に取り組んで参ります。また一方では、メガソーラー事業や地域資源を活かした地域産業の活性化や、さらには防災や交流の拠点として未来へつなぐ町の中心施

設となる複合型施設の建設、第5次総合計画の策定などを柱として、町民の皆さん

とともに、新しい時代に向かって暮らして生命を守り、小さくても魅力のある元気な町づくりを重点施策と致しました。

そこで、二期目のスタートにあたり、重点施策について各所管課ごとにヒヤリングをし、施策の推進を図

って参りますので、何卒、議会の皆さんならびに町民の皆さんのご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。さて、3月定例会以降の

中で、まずは、木曾岬干拓地のわんぱく原っぱについてであります。三重県は

平成18年度から野外体験広場のわんぱく原っぱの整備を進められ、5月2日にオープン致しました。

施設の規模としては、遊

び広場が約4haと景観原っぱが約8haに、駐車場とトイレが設置されております。公園としては、簡素な公園であります。これは将来の都市的利用を見込んでの計画であるがためでありませう。しかしながら、おおよそ4haもの広さの自由に使える公園が整備されました

ので、積極的な活用がなされることを期待するところであります。

また、干拓地内の道路整備でございますが、このたび、三重県において、新緑風橋からメガソーラー事業が展開される新エネルギーランドまでの約1,250mの道路整備を行う路線測量が発注されたところであります。今後、干拓地中央の道路整備が進められ、都市的な土地利用に向けての基盤整備が進んでいくことを更に期待するところでございます。

そしてもう一つが、メガソーラー設置運営事業であります。その後、事業実施に向けての各種手続きが整ったことから、三重県は、先般5月13日に三重県庁において調印式が行われ、丸紅株式会社と基本協定の締結がなされました。

また、当初から要望して

おりました運営会社につきましましては、丸紅株式会社100%出資の事業運営会社を設立し、木曾岬町内に置くことが決まり、源緑輪中地内の空き事務所を紹介したところ、今事務所設置に向けて準備されているとお聞きしております。

また、建設に当たっては、設計・調達・建設まで一括納入で請け負うEPCという方式で行われ、その元請会社も提案の地域での企業とのことで、富士電気株式会社に決定され、さらに土木工事は日本国土開発株式会社、電気工事は富士古河E&C株式会社に決定されたところであります。

そこで、さらにかねてから当町の要望であり、また、丸紅株式会社からの提案であります地域貢献・産業振興の一環として、地元企業および地元雇用への活用と地元生産品の活用器具現化

にあたり、去る5月24日に丸紅株式会社から木曾岬町および桑名市の商工会、商工会議所へ工事概要の説明がなされました。地域への貢献としては、このメガソーラー設置事業はもとより、総合商社の総合力を活かした方策も期待するところであります。

ちなみに、本体工事期間は本年7月から来年12月を目的に実施され、発電事業開始は平成27年1月を予定され、平成46年12月までの20年間の発電事業となるものであります。

今後は、事業者である丸紅株式会社からの産業振興、地域貢献の提案について、メガソーラー地域活性化研究会などで具体的な方策を検討し、実施に向けた取組みを進めることになっております。

次に、先の3月定例会で申し上げました防災・減災

の報告に関連しますが、木曾岬町の防災で最も重要な木曾川高潮堤防の補強事業の取組みについて、近況をご報告申し上げます。これまでも、木曾川高潮堤防の事業促進につきましては、木曾三川河口部の自治体で組織しております「木曾三川下流改修促進期成同盟会」の要望活動や「中部直轄河川期成同盟会」の要望活動、意見交換会等を通して、国土交通省や国会議員に対して、終始木曾岬町にとって如何に木曾川堤防が重要であるかを訴え、補強事業の促進、早期完工を切望して参りました。

さらには、一昨年の東日本大震災を契機に東海地震、東南海地震、南海地震の三連動地震による被害想定や新たに公表された南海トラフを震源とする巨大地震の発生が危惧され、液状化による堤防の沈下や襲来する

津波の高さ、その被害の想定を聞くたびに、震災による被災予測が広がり、これまでの高潮対策だけではなく、震災対策も待った無しの状況となり、堤防の耐震化も大きな課題であります。

このような状況下、昨年

発足した新政権では「日本経済再生に向けた緊急経済対策」を提唱し、具体的施策と致しまして「事前防災・減災のための国土強靱化の推進、命と暮らしを守るインフラの再構築」等が掲げられておりましたことから、政権の交代早々に、期成同盟会の要望活動とは別に「木曾川堤防耐震化の要望書」を携え、中部地方整備局の梅山局長、国土交通省水管理・国土保全局の足立局長に面談を申込み、木曾岬町の地勢・立地から大災害の被災リスクが著しく高いことをお伝えし、木曾川堤防の高潮対策と耐震化を

要望しました。

また、この5月には太田国土交通大臣に面談の機会を得て、直接木曾岬町の現状と課題を申し上げ「木曾川堤防耐震化の要望書」を手渡したところでございます。

このような強い要望活動の成果と国の政策が相まったことから、今年の国土交通省木曾川下流河川事務所の事業に、多くの木曾川堤防補強事業が盛り込まれました。

その概要を申し上げますと、一つは、唯一木曾川高潮堤防の未整備区間となっておりました鍋田川上流排水機場の樋管の高潮堤防波返工ですが、昨年からの樋管の耐震補強が進められており、今年には完成の予定となっております。また、その上流にある鍋田上水門の改修工事にも今年から事業に着手されまして4年間の

工期で平成28年度に完成の予定とされております。堤防の迂回路や仮設の締め切り等大規模な工事が予定されております。

二つ目には、事業の着手を待ち望んでおりました源緑地区の河川防災ステーションも各種の手続きを終え

まして、今年は用地買収と一部地盤改良の工事に手掛けられ、平成27年度の完成予定となっております。この河川防災ステーションの完成に併せまして、町の避難所として水防センターの建設を予定しています。

最後に、堤防の耐震化事業ですが、この事業は事業費が多分に係ることから、これまで国道23号線の橋梁付近にかざられて施行されていきましたが、この度の公表された事業計画では、今後5年間で、河口から国道23号線の橋梁まで木曾川堤防が耐震化されることとな

りました。堤防の川側と内側の地下に壁を作り、地震の震動で堤防の倒壊や液状化による堤防の盤沈下を防ぐもので、この事業により木曾岬町の治水に対する安全度は格段に改善されることとなります。

木曾三川下流域は、人口・資産が集積している一方、我が国最大の海拔ゼロメートル地帯が広がり、過去には伊勢湾台風をはじめとする高潮・洪水災害、濃尾地震をはじめとする地震災害等により甚大な被害を受けてきた事を教訓とし、町の防災・危機管理に対して万全を払っていく必要があると考え、今後とも取り組んで参ります。

以上のことを申し上げ、最近の当町に関わる動向としての行政報告と致します。

# 議会日誌

## 2013 4月

- 16日●木曾岬町長及び町議会議員選挙の告示
- 18日●三重県町村議会議長会理事会(津市)に議長出席
- 21日●木曾岬町長選挙投票日
- 22日●木曾岬町長及び町議会議員当選証書授与式
- 25日●桑名広域清掃出納検査(桑名市)に議長出席

## 2013 5月

- 5日●多度大社例祭に議長出席
- 7日●議員懇談会
- 13日●初議会前議員懇談会
- 17日●木曾岬町文化協会総会に議長出席
  - 町議会議員任期満了日
- 20日●第1回臨時会(初議会)
  - 初当選議員研修会
- 21日●例月出納検査
- 23日●社会福祉協議会評議員会に副議長出席
- 24日●木曾岬町商工会通常総会に議員全員出席
- 27日●木曾岬町青少年育成町民会議総会に議長出席
- 28日●桑名・員弁広域連合議会臨時会(桑名市)に議長出席
  - 木曾岬町土地開発公社監事会に伊藤(好)議員出席
- 30日●木曾岬神社春季例祭に議員多数出席

## 2013 6月

- 2日●町内一斉清掃に議員多数出席
- 3日●議会全員協議会
  - 議員懇談会

## 2013 6月

- 5日●木曾岬町土地開発公社役員会に関係議員出席
  - 議員研修会
- 7日●議会運営委員会
- 8日●小学校インターナショナルディに議員多数出席
  - 木曾岬町遺族会追悼法要に議長、伊藤(正)議員出席
- 10日●桑名地域生活安全協会総会(桑名市)に議長出席
- 14日●第2回定例会(初日)
- 19日●第2回定例会(一般質問日)
- 20日●例月出納検査
- 24日●第2回定例会(最終日)
  - 行政視察
- 25日●桑名・員弁広域連合出納検査、決算審査(桑名市)に議長出席
- 28日●国民健康保険運営協議会に伊藤(好)議員出席

## 2013 7月

- 8日●桑名広域清掃事業組合議会臨時会(桑名市)に議長出席
- 9日●県内農業関係施設視察
- 10日●例月出納検査
  - 平成24年度水道事業会計決算審査
- 11日●議会広報常任委員会
- 16日・17日・22日
  - 平成24年度一般会計及び特別会計決算審査
- 18日●議会広報常任委員会
  - 木曾三川公園建設促進下流期成同盟会総会(桑名市)に議長出席

みなさまの  
ご意見を  
募集しています。

議会に対して、普段、感じていること、疑問に思うこと。また、要望など、何でも結構です。

ご意見、ご質問をお寄せください。

提出先

議会広報常任委員会  
(議会事務局)

TEL 68-6108

議회를ぜひ、  
傍聴にきてください。

議会は、どなたでも自由に傍聴することができます。

次回、9月定例会、本会議の予定です。

- 9月10日(火) 午前9時 開会、議案上程
- 20日(金) 午前9時 一般質問
- 24日(火) 午前9時 議案採決、閉会

なお、日程などは変更する場合がありますので、議会事務局まで、お問合せください。



問合せ先

議会事務局 TEL 68-6108



## 町内一斉清掃活動に参加

6月2日、恒例となりました「町内一斉清掃活動」に議員も参加し、主要道路などに落ちている空き缶などのごみ拾いを行いました。

年2回実施されているこの町内一斉清掃は、早朝より多くの方々のご参加によって、地域周辺の美化に向けて活動をいただいております。こうした活動から地域の一体感やボランティア意識の高揚などが感じられました。今後とも、地域の環境美化にご協力をお願いいたします。



## 議員研修会の開催

本年は、町議会議員の改選に伴い、新たに4名の方が議員に当選され、新体制としてスタートしておりますが、議員としての資質向上を図るため全議員（8名）を対象として、6月5日に議員研修会を開催しました。当日は、三重県町村議会議長会の松田次長他を迎え、「地方議会制度」と題して、説明を聞き意見交換を行いました。



## 行政視察を実施

6月24日、木曾岬町議会第2回定例会の閉会後に、行政視察として県営湛水防除事業木曾岬地区「集中管理システム」を視察しました。このシステムは、木曾岬町内排水施設の一元管理と維持管理費の低減を図るため設置されている湛水防除排水機及び木曾岬町役場の老朽化した集中監視制御施設の更新が行われましたので、その事業内容について、三重県の吉田課長より説明を受けました。また、この他「(仮称)境港の現況確認」、「わんぱく原っぱの利用状況」も視察しました。



## 編集後記

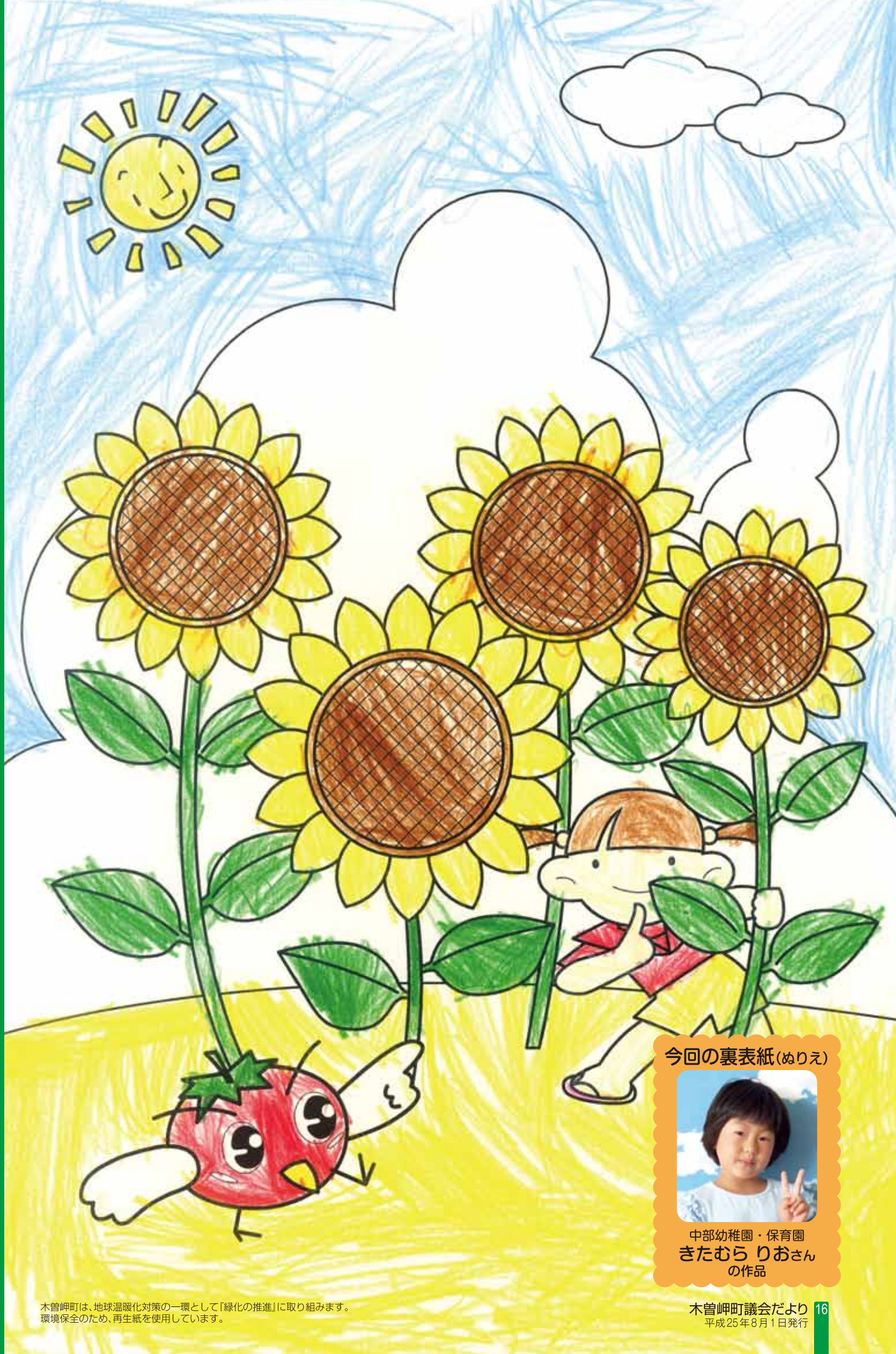
4月に木曾岬町長・町議会議員選挙が行われました。結果として町長は再選となりました。議員の候補者は、定数を超えることが無かったために選挙は行われませんでした。4名の入れ替わりとなり半数が新しい方となりました。

個々の意見はさまざまなれど、木曾岬を良くしたいという気持ちは、議員全員が同じですが、二元代表制の一躍を担う責任は、地方分権とともにますます重要となっており、議員個人の自己研鑽はもとより、議会全体の発展にも一層の努力が必要です。町民の皆様にもご理解ご協力をお願い申し上げます。

また、委員会も委員の入れ替えがあらまして、新しいメンバーとなりましたが、より以上の「議会だより」にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。

ここに、第76号の議会だよりをお届けします。

議会広報常任委員会一同



今回の裏表紙(めりえ)



中部幼稚園・保育園  
きたむらりおさん  
の作品